

## 「懸命に生きる人々、今私たちが学ぶべきこと」

講師：一般社団法人アジア支援機構  
代表理事 池間哲郎 氏

今年度は、アジア支援機構から池間哲郎氏を迎え、写真や映像を交えた講話を行っていただきました。講演会後には、急遽、交流会にも応じてもらえ、約20名の生徒が参加し、様々な質問や生き方についての悩みをぶつけ、講師の池間氏からは、一つ一つ丁寧にアドバイスをいただきました。交流会を終え、参加者の満たされた表情が印象的でした。



### 【講演内容】

アジア支援機構では、東南アジアの諸国に学校や井戸を造ることや、ハンセン病やHIV患者への支援などを行っている。ご自身が行っている活動を通して各国で見てきたこと——貧困ゆえに離れ離れに暮らすことを決めた親子、ハンセン病で隔離された人々、ゴミ捨て場での生活を余儀なくされる人々などが、写真や映像とともに紹介された。最後には池間氏から生徒たちへ、「『知る』『分ける』『尊敬する』を大切にしてほしい」とのメッセージが送られた。

## 【交流会の様子】



## 【生徒の感想】(感想の一部を抜粋)

深く考えさせられた。人の話を聞いて鳥肌が立つ感覚をはじめて経験した。今まで軽くしか考えてこなかった、アジアの人権問題についてやっと自分の中で現状を本当に理解することが出来た。そして、自分たちの手で変えていかなければならないと感じた。今まで時間の流れに身を任せ、親に生活の全てを頼り、我儘を言って適当に毎日を過ごしてきた自分が本当に情けなくなった。これからは自分で夢をもって懸命に生きるべきだと思った。

私たちが今学校で勉強している間に他の国では戦争に巻き込まれていたり労働をしていたり、売春させられている子供がいるという現実を知りとても悲しくなりました。生きるのがしんどいとか死ぬとか簡単に口にする人もいるけれど簡単に口に出してはいけないなと思ったし、池間さんの言葉一つ一つに重みを感じました。今、幸せだなあと思えていることがどれだけ素敵なことでどれだけ幸せなことか考えたらきりがありません。

池間哲郎さんの、知って、分けて、尊敬する姿勢で、人々と関わる。このことが、立場が離れた人々と打ち解ける一つの理由になったのだと思う。境遇の違う人と関わることは、難しいことで、時には、怖いことにもなり得る。しかし、関わることを通して、自分の人生の見地を広げ、一生懸命生きる糧にしていきたい。そして、自分の大切なものを誰かに与えられるような人との関わり方をしていきたい。